

落ち葉腐葉土化モデル事業

取り組みの概要

モデルとなる町内会や学校による協力のもと、地域にある公園・緑地や街路樹、学校等の公共施設から発生する落ち葉を収集し、切り返し作業などを行い、腐葉土化する取り組みです。出来上がった腐葉土は、公園や学校にある花壇等の土壌改良に活用していただいています。市は、集積された落ち葉を腐葉土化するためのボックスの貸与、及び腐葉土づくりの作業における技術指導等を行っています。

協働の きっかけ

公園・緑地や街路樹等から発生する落ち葉は、木質バイオマス資源としての利用価値がありますが、十分な利活用がされておらず、大半はゴミとして焼却処理されています。さらに、落ち葉の収集に要する作業の負担感等が、みどりに対するイメージ低下の原因のひとつとなっている現状があります。そのため、落ち葉腐葉土化モデル事業を進めることで、「ゴミ」から「資源」へと循環するしくみについて理解が深まり、木質バイオマス資源の地域内循環の仕組みを構築していくきっかけとなるように取り組んでいます。

みどりの課

・行政ならではの情報収集・発信力

・腐葉土ボックスの貸与
・腐葉土づくり作業の技術指導



町内会、学校

・地域（学校）に密着した活動ができる

・腐葉土づくり作業
・資源の活用

強み

役割

協働の 成果

本事業で製作した腐葉土は、公園や学校の花壇等に有効に活用されているほか、ゴミの収集及び処理に要する経費の節減につながっています。また、落ち葉を腐葉土化していく過程を体験することで、木質バイオマス資源の循環に対する理解につながり、環境教育としても役立てていただいています。

協働のポイント

- 作業を軽減する手法の検討
- 参加団体の増加に向けた取り組み

